

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 烏山女子高等学校体育館新築に伴う 孔番 No. 2 地盤高 _____ m

調査場所 地質調査 _____ (基準面 _____)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日

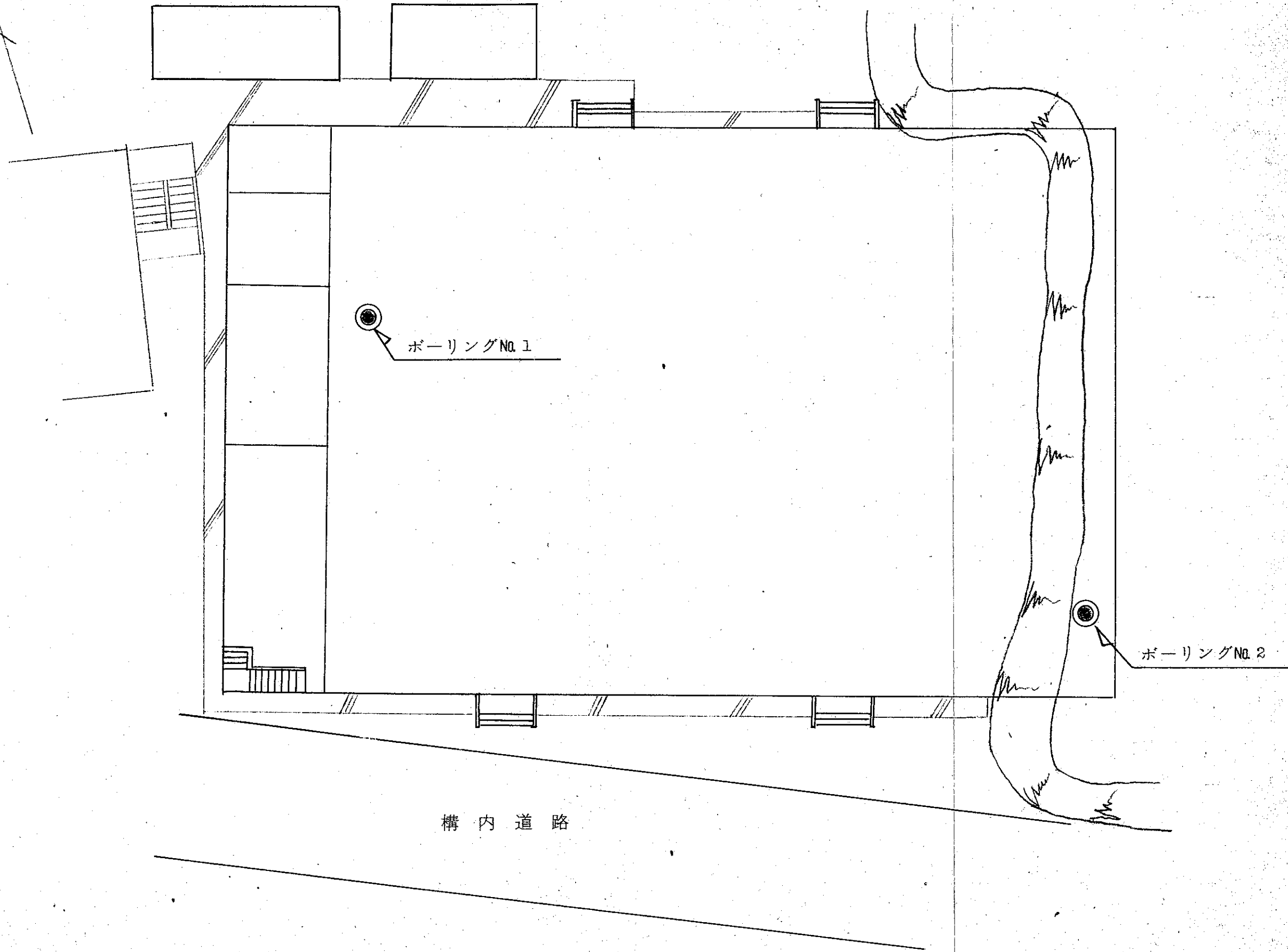
地下(孔内)水位 3.35m 調査担当者 _____

標地下水 高位置 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打 撃 回 数									
					色 調	相 度 対 稠 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	0	10	20	30	40	50	60	70	
0	0.40	0.40	△	表 土	暗茶															
1			△	鹿沼土	茶褐		下部鹿沼土混	1.1.2		1.15 1.45	●									
2	2.10	1.70	△	鹿沼土	青灰		粘土化状			2.15 2.55	●									
3	2.60	0.50	△	粘 土	褐		粘着性強い	3/2.2.3		2.15 2.47	●									
4	3.20	0.60	△	粘 土	青灰		粘着性強い下部 小レキ点在	4.5.7		2.15 2.45	●									
5	4.00	0.80	△	砂質粘土	"		所々小レキ点在 下部砂多い			2.22 2.25	●									
6	4.80	0.80	△	腐植粘土	暗青灰		腐植物多量混 粘着性強い	11.14.15		2.15 2.45	●									
7	5.90	1.10	△	粘土混り 砂レキ	青灰		レキ径50-70 mm	36.14/3		2.15 2.38	●									
8	7.00	1.10	△		灰黒色		風化状である 亀裂多い			2.15 2.21	●									
9			△	風化岩							●									
10	10.15		△								●									

64

調査位置図

N



ボーリングNo. 1

ボーリングNo. 2

構内道路